

PIERIA ファッションフランス語 レベル2

目次

Table des Matières

- 1 課 1) 補語人称代名詞
- 2) 中性代名詞
- 3) 所有形容詞、所有代名詞
- 2 課 1) 文型
- 2) 数量の副詞 (peu, un peu, quelques, beaucoup)
- 3) 不規則動詞の直説法現在 (aller, venir)
- 3 課 1) 関係詞 ①
- 2) 疑問詞 ①
- 3) 強勢形人称代名詞 - 人称代名詞一覧
- 4 課 1) 過去分詞
- 2) 直説法複合過去
- 3) 命令法
- 5 課 1) 直説法半過去
- 2) 直説法大過去
- 3) 非人称表現
- 6 課 1) 疑問形容詞、疑問副詞 - 感嘆文
- 2) 受動態
- 3) 数詞 ② (21 以上)

Exercices 1

1. 次の文を訳しなさい。

- 1) Pierre néglige sa tenue. Sa femme n'en est pas contente.

略

2. 各文を訳し、次に下線部を適切な代名詞に置き換えなさい。

- 1) J'enlève mon chapeau de paille.

略

3. フランス語に訳しなさい。下線部には代名詞を用いること。

- 1) 君はいつも忙しそう(sembler)だ。

－うん。いつも忙しいよ。

- 2) こんにちは。男性用の手袋(gant pour homme)を探しているのですが。

－あいにく(malheureusement)当店には男性用の手袋はありません。(nous を主語にする)

略

【コラム1：フランス語にない表現、日本語にない表現 (2)】

日本語にない表現

今回は、前回とは逆に、フランス語にあって日本語にない表現について見てみましょう。

<単数/複数の区別>

日本語では、単に「スカートを買う」、「靴を処分する」などといったとき、それが単数であるか複数であるかは分かりませんが、フランス語で言う場合は、常に単数が複数かを明らかにする必要があります。

また、lunettes (めがね) や chaussures (靴) のように、原則として常に複数形で用いる単語もあります。

ただし、次の点に注意してください。

- ・ lunette : 単数形で用いると、「望遠鏡」の意味になる
- ・ chaussure : 「靴の片方」の意味で用いる場合は、単数形にする
(例) perdre une chaussure (靴を片方なくす)
chaussettes (靴下) や gants (手袋) なども同様です。

ところで、英語では、ズボンに相当する pants や trousers を、1本であっても複数形で用います。これは足が2本あるからという考え方によるものですが、フランス語の場合、pantalon はこのような扱いはしません。1本であれば単数形で使います。

一方で、hanche (腰) のように、複数形で用いるのが一般的な語もあります。このように、単数/複数の区別は、単に対象が単数か複数かということだけによらず、数え方に対する考え方や習慣が反映されていることもあります。

<taille/pointure の区別>

フランス語では「サイズ」に当たる語には taille と pointure のふたつがあり、対象によって使い分けられます。

略